

阪神電車防災通信 No.6

～自然災害に強い沿線づくりを目指して～



神戸駅周辺地域津波避難誘導
「実働訓練」に
参加しました。

1月19日（月）阪神電気鉄道株式会社が、神戸駅周辺地域津波避難誘導実働訓練に参加しました。

“南海トラフを震源地とする巨大地震が発生し、大津波警報が発表された”との想定の下、指定地方公共機関である鉄道会社として「自助」「共助」の観点より、「お客さま・社員の命を守ることを第一に」高速神戸駅構内及びメトロこうべご利用のお客さまを指定広域避難場所である大倉山公園まで避難誘導しました。

阪神電気鉄道は、1995年の阪神・淡路大震災で被災した企業として、「自然災害に強い沿線づくり」を目指し、これからも沿線の皆様とともに取り組みを推進してまいります。

阪神電車 安全報告書



こちらからご覧ください。👉

